



岩国の夏 錦帯橋のう飼

6月1日

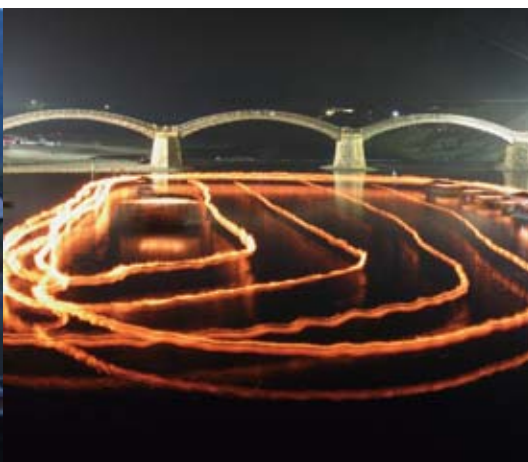
Iwakuni City Topics | まちの話題

岩国の夏の風物詩「錦帯橋のう飼」が開幕しました。

真夏日となったこの日、観光客や市民ら約200人が12隻の遊覧船に乗り込み、川面を吹く爽やかな風で夕涼みしながら、錦川の上から錦帯橋や岩国城を眺めるという非日常なひとときを楽しみました。

う飼が始まると、間近で見る匠の技に船上の子どもたちは大興奮。鵜匠の見事な手縄さばきによって鵜が鮎たなわを捕らえると、大きな拍手や歓声が沸き起こっていました。

市民にもっと親しんでほしいと料金が大幅に下げられた今年のう飼。9月10日まで楽しむことができます。





もっと上手になりたい

5月3日、昨年に続き、灘リーグの上野理事長と元灘オールスターズの金口コーチを講師に招いて、長野グラウンド(美和町)で恒例の「ソフトボール教室」が行われました。ストレッチなどの運動を行った後、小学生34人にキャッチボールやゴロの捕り方を指導。児童は「もっと練習して上手になりたい」と目を輝かせていました。



こいのぼり運動会、楽しかったね！

5月17日、ほんごう保育園で毎年恒例の「こいのぼり運動会」が行われました。園児は、徒競走や障害物競走、保護者やグループホーム本郷の皆さんと一緒に大玉ころがしやダンスなどを楽しみました。

ほんごう保育園の皆さん、一生懸命がんばりましたね。

Iwakuni City Topics | まちの話題



開港から1年5カ月での達成！

5月20日、岩国錦帯橋空港の「岩国－東京(羽田)」線の利用者が50万人を突破し、空港ターミナルで記念セレモニーが開かれました。50万人目に選ばれたのは、東京から観光で訪れた与名本さん夫妻です。福田良彦市長ら関係者がくす玉を割って祝うと、空港はお祝いムードに包まれました。



爽やかな 初夏の風を感じて

5月11日、高森野外活動振興会主催によるサイクリング大会が開催されました。

小学生9人を含む21人の参加者は、爽やかな五月晴れの中、周東中央グラウンドからやまぐちフラワーランドまでの往復約45kmの道のりを、高低差をものともせず爽やかに駆け抜け、サイクリングの魅力を満喫しました。



生涯学習講座 「よろず学問所」開講

5月27日、よろず学問所の開講を記念し「笑って健康」と題した佐々木真人氏の講演が、錦ふるさとセンターで開催されました。

佐々木氏は、講演の前半は芸名カンチューハイ角照さん^{かくてろ}として落語を披露し、後半は西光寺住職としてギター演奏を交えた歌と楽しい話で、参加者を大いに笑わせました。



地域を越えて！ プレイルーム

5月21日、プレイルーム「いっしょにあそぼ!!」が、美川保健センターの和室で行われました。美川、錦、本郷の親子が参加し、子どもたちはお友達と仲良く遊び、お母さんたちは地域を越えた情報交換を行いました。終了時には、別れが悲しくて泣き出す子も出るほど、貴重で楽しい時間を過ごしました。



潮風公園に夏がやってきた！

5月27日、平田小学校3年生の児童が「潮風公園みなとオアシスゆう」を訪れ、芝生広場でかくれんぼやゲームを楽しみました。また海岸では、米軍海兵隊岩国基地の隊員がビーチバレーやカヌーを楽しむ光景がみられました。交流と憩いの場として、この夏も多くの人々が浜辺や公園をにぎわすことでしょう。



玖珂まちの歴史を訪ねて

5月27日、約30人が参加して「第6回玖珂まちふるさと歴史散歩」が行われました。

今回は玖珂西部の千束・白田^{せんぞく うすだ}地区の散策で、経済学者・故岡本一郎先生の旧宅跡や白田古墳などを訪れました。参加者は散歩を楽しみながら、講師の松岡睦彦氏の奥深く楽しい歴史話に興味津々で聴き入っていました。